

第74回 通常総会 藏内会長挨拶

公益社団法人 日本獣医師会
会長 藏内 勇夫



第74回 公益社団法人 日本獣医師会総会開催に当たり、会を代表し一言ご挨拶を申し上げます。

55の地方獣医師会の会長をはじめ、関係者の皆様方にはご多忙の中、本総会にご出席をいただき誠にありがとうございます。

特に公務ご多忙な中にも関わりもせず、来賓として多くの皆様にご出席をいただきました。関係省庁からは農林水産省消費・安全局長の今城健晴様、環境省自然環境局長の亀澤玲治様、厚生労働省医薬・生活衛生局生活衛生・食品安全部長の北島智子様、中央畜産会からは昨日副会長に就任された姫田 尚様、日本医師会から横倉会長の代理として温泉川梅代常任理事、また、日本獣医師連盟の北村直人委員長はじめ、多くのご来賓の皆様方にご出席をいただきました。日頃より皆様方には

種々ご指導をいただいております。この場をお借りし、会を代表して心から厚くお礼を申し上げる次第です。

さて、私が会長に就任以来、日本獣医師会と地方獣医師会は表裏一体との認識のもと、情報を共有し、同じ目的、価値観を持って山積する課題の解決に努めてまいりました。昨年は福岡県北九州市において第2回世界獣医師会 - 世界医師会 “One Health” に関する国際会議を開催いたしました。31カ国、639名の獣医師をはじめ、多くの研究者、関係者の方々に参集いただき、福岡宣言を採択する他、数多くの成果を得ることができました。これはひとえに地方獣医師会の皆様方の努力の賜物と考えております。

この国際会議の開催前の11月8日までに47都道府県55地方獣医師会と地方の医師会との間で学術協定が結ばれました。われわれは今後このネットワークを活用し、人と動物の健康を守り、国民の負託に応えるよう努力を重ねてまいります。

そして、この国際会議の成功により、われわれがこれまで希求してきた公務員獣医師の処遇改善も大きく前進をいたしました。本年度から、福岡県人事委員会は特定獣医師職の給料表を公布いたしました。つまり、われわれ獣医師は医師と同等の役割を果たしているという評価が得られたものであり、大変喜ばしいことだと思っております。

一方、昨年4月の熊本地震において、われわれ日本獣医師会では、発生の翌日に村中副会長が中心的な役割を果たして緊急対策本部を設置し、本日、お集まりの皆様をはじめ、全国の関係者の方々にご支援をいただく中で、被災動物の救護、被災した動物病院や獣医師の復旧支援を行いました。また、全国に先駆けて、九州地域で初めての恒久的な動物救援の拠点施設として、熊本地震ペット救援センターを整備することができました。これも、本日ご出席の多くの皆様方のご厚意の賜物であり改めて厚くお礼を申し上げます。

さて、国家戦略特区による獣医学部新設の問題については、さまざまな報道がなされていますが、本会では平成26年の通常総会において全会一致で採択されたとおり、一貫して獣医学教育の国際水準への整備、充実を強く要請しています。本件に関しては、これからも日本獣医師連盟の北村委員長と連携しながら、慎重に対応したいと考えております。

なお、本日午前中に開催した理事会においてもご了承をいただきましたが、国家戦略特区による獣医学部の新設にかかわる日本獣医師会の考え方について、本総会の終了後に公表する予定であり、後ほどご出席の皆様方にも配布をさせていただきたいと思っております。

本日の総会は、平成28年度の事業報告、決算、並びに29年度の予算、事業計画をご審議いただきますが、どうか忌憚のないご意見をお出しいただきたいと思います。

本日の総会を契機に、日本獣医師会の活動がいつそう活発で意義のあるものになるように皆様方のご協力をよろしくお願いを申し上げ、会長の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。